



Keidanren Women's Executive Network

Leadership Mentor Program

目は高く、頭は低く、
心は広く



経団連女性エグゼクティブ・ネットワーク

第32回リーダーシップ・メンター・プログラム

2025年4月9日 東京・大手町 経団連会館

キャリアの礎となった三つの経験

通算 11 年半の海外経験を通じて、自分と異なる文化で育った相手をリスペクトして接することの重要性を学んだ。同時に、厳しい競争環境のなかで自分の存在感を示すためには、他人と異なる考えやアプローチが必要だと痛感した。その考えに基づき、中期経営計画のプロジェクトリーダーを務めた際は、自分が頭取に成り代わったつもりで策定に取り組んだ。その後、リーマンショックや東日本大震災、コロナショックなどの危機において、企業としての損害を最小限に抑えつつ、お客さまを最大限支援する方法を模索した。この経験を通じて、社会インフラとしての銀行の重要性を痛感した。

大切にしているマインドセット

これまでの経験を通じて、三つのマインドセットを心掛けてきた。一つ目は「Stand up & step in」。一つ高い目線で物事を考えること、自分の仕事はここまでだという線引きをせずに幅広い領域に手を伸ばすことである。二つ目は「Change something, always」。常に何かを変えること。変えるためには、その物事の本質を理解することが重要である。三つ目は「Listen first」。忙しいなかでも、謙虚に我慢強く相手の話を聞き、重要な情報を見逃さないようにしなければならない。

経営者として意識してきた方向性

経営者として組織を変革していくため、「Beyond our boundaries (国内外における金融・非金融ビジネスの積極的展開)」「Innovation & Evolution (社内外におけるイノベーションの推進)」「Communication Engagement (お客さま・従業員とのコミュニケーション強化)」という三つの方向性を意識していた。個人のマインドセットと組織が目指す方向性との相互作用により、「最高の信頼を通じて、お客さま・社会とともに発展するグローバルソリューションプロバイダー」というSMBグループのビジョン実現に向けた推進力が生まれる。

ビジネスリーダーに必要な考え方

経営者として大切にしている基本的な考え方は「目は高く、頭は低く、心は広く」。長期的な視野で高い目標を掲げ、謙虚さを保ち、愛情を持って部下や同僚に接することを心掛けている。

また、先述の自身の三つマインドセットについては、自身が尊敬するとある経営者も、ビジネスリーダーに求められることとしてそれらに通じる考え方を述べており、経営者の間で一定の共通認識があると感じた。皆さまの参考になれば幸いである。

Mentor Profile

高島 誠氏

(一社)日本経済団体連合会
副会長
株式会社三井住友銀行
取締役会長

1982年に住友銀行（現三井住友銀行）入行後、主に国際業務、企画業務に従事。

執行役員経営企画部長、常務執行役員 米州本部長、専務執行役員国際部門共同統括責任役員（欧州、米州）等を経て、2017年に頭取兼CEOに就任。2023年より取締役会長（現職）。

2024年5月には経団連副会長に就任。

京都大学法学部卒。カリフォルニア大学バークレー校法科大学院修了。

